

宮古の風

～新しい風は東から～



昨シーズンは、ほとんど降らなかった雪ですが、先日ドカッと降ってしまいましたね。雪、地震、鳥インフル等の自然災害も心配などころではありますが、せめて、年末年始はゆっくり過ごせますように…とお祈りします。

皆さま、どうぞ良いお年をお迎えください。
文責：遠藤 恵

企画総務課特集 ~令和7年度 管内小中学校事務職員研修会~

9月26日(金)「学校事務推進に必要な知識を習得するとともに、職務上果たすべき役割について理解を深めることにより、小中学校事務職員としての資質の向上を図ること」を目的に、宮古地区合同庁舎大會議室にて開催しました。

研修では、最初に「学校を取り巻く環境と事務職員に期待すること」として所長講話を行いました。Society5.0、DX、チーム教育など、学校を取りまく現在の重要なポイント、ICT技術を活用した学びの環境整備など令和の日本型教育の目指す姿、ICTに係る予算の現状、急激に進む人口減少など、社会情勢の変化を説明しました。



後半は「行政職としての専門性を活かした御意見番であって欲しい」など、事務職員に期待すること、そして、大切にしてほしい心の持ち方についてお話ししました。

研修Ⅰでは「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について」として、村上社会教育主事が講義を行いました。CSや地域学校協働活動について、法律上の位置付け、目的、実際の活動内容、効果などを説明し、出席者にもそれぞれの思い浮かべた活動について意見交換を行ってもらうことにより、身近なものとして感じてもらいました。

また、事務連絡として、7月～8月に実施した事務状況調査の結果、結果を踏まえた留意事項、諸手当の過年度追給・返納について、給与・旅費に係る留意事項について、それ各自担当から説明しました。



最後に研修Ⅱとして、「手当・旅費の演習問題」に取り組んでいただきました。教育事務所の書類審査で修正することの多い旅費の入力コードの使い方、年度当初にしか作成しない赴任旅費、また、少し捻った単身赴任手当の演習問題等を聞いていただき、最後に根拠や覚えて欲しいポイントを踏まえながら解説しました。

【出席者からの感想（アンケートより（抜粋）） ◇所長講話 ☆研修Ⅰ ○研修Ⅱについて】

- ◇ 初心を忘れず、日々の業務を遂行していきたいと思います。
- ◇ 昨今の講話は教員の負担軽減⇒事務職員の負担増の内容が多かったが、事務職員の立場に寄り添った話で心にひびきました。
- ◇ 社会情勢等について説明いただき、また管理職との接し方についても紹介してくださり勉強になった。
- ☆ 勤務校でも動いているが、実際どのようなものなのか知らなかつたので知ることが出来てよかったです。
- ☆ 「社会全体で子どもの育ちを支えていく」地域との繋がりが大切だと再認識した。
- ☆ 事務職員としてどのように関われば良いか考えていきたい。
- 扱う機会が少ない単身赴任手当や赴任旅費の演習は大変参考になった。
- 日々の業務を改めて見直し、確実な旅行命令入力票作成に役立てていきたいと思います。

～令和7年度 初任事務担当者等研修会～

5月13日（火）および8月7日（木）「給与・旅費事務の基礎的な執務能力を養成するとともに、学校事務職員としての意識の確立を図り、事務の円滑かつ適正な事務処理に資すること」を目的に、管内小中学校事務職員「令和7年度 初任事務担当者等研修会」を、宮古地区合同庁舎会議室にて開催しました。今年度の新採用者に加え、採用5年目までの希望者にも案内し希望者を募りました。

5月の研修会は、悉皆の新採用の2名と希望者4名の6名で行いました。まず「給与事務（諸手当認定に関する基礎的な説明）」として各手当の概要について、次に「旅費事務（基礎的な説明）」として旅費支給までの流れや予算、書類記載方法等について講義形式で説明を行いました。

意見交換の時間では、新採用者から採用から1ヶ月を振り返ってや、先輩に聞いてみたい事を発言してもらい、先輩方から経験談やアドバイスを話してもらいました。



8月の研修会は、参加者6名で行いました。5月の研修を基に演習をメインとした研修を実施しました。最初に「給与事務演習」として諸手当に係る演習に取り組んでいただき、次に「旅費事務演習」として旅行命令票を作成し旅費額を試算する等の各演習問題に取り組んでいただきました。午後には、新規採用者と経験者の2グループに分け、交互に県の財務会計システムを実際に操作して、旅行命令票の作成を体験してもらいました。また、今回も、5月と同様に意見交換を行い、夏休みの過ごし方なども含め交流を深めました。



事務職員は基本的に学校に1人しかいないため、適切な事務処理のためには一人一人のスキルアップと、共同実施や他校事務職員等との繋がりがとても大切だと思います。この研修で、給与・旅費に係る知識を深めるとともに、意見交換により他校事務職員との繋がりが育まれたのではないかと思われます。また、先輩事務職員は後輩にアドバイスをする中で初心に立ち返り、そして、後輩の育成を意識することで、自らの成長につながる良い機会になったのではないかと感じました。

【出席者からの感想（アンケートより（抜粋））】

- ◇ 大まかな流れから細かいところまで丁寧に説明していただき、とても勉強になりました。手当等について普段から先生方とのコミュニケーションをとって、情報を早く知れるようにしたいです。
- ◇ 自分が初任の頃どうだったのかなど、振り返る事ができる良い機会でした。みんな同じ悩みを持っているのだと、もっと成長しなければと思わされました。
- ◇ 旅費システムを見させていただき、戻ってくる計算書と命令票をもう一度照らし合せてみようと思った。
- ◇ 困った時の対処法について、討議をとおして学ぶことができた。
- ◇ 旅費額がどう計算されているのかを理解しておくことが大事だと思った。

アンケート結果は管内小中学校事務職員研修会、初任事務担当者等研修会ともに概ね好評でした。いただいたご意見（開催時期や希望研修内容等）を踏まえ、来年度の研修会を計画いたします。